

令和3年度農業者年金業務研修会及び担当者会議(Web対応)

5月17日～18日グループ

5月19日～20日グループ

5月24日～25日グループ

北海道・東北	北海道	農業会議 JA中央会
	青森県	農業会議 JA中央会
	岩手県	農業会議 JA中央会
	宮城県	農業会議 JA中央会
	秋田県	農業会議 JA中央会
	山形県	農業会議 JA中央会
	福島県	農業会議 JA中央会
関東	茨城県	農業会議 JA中央会
	栃木県	農業会議 JA中央会
	群馬県	農業会議 JA中央会
	埼玉県	農業会議 JA中央会
	千葉県	農業会議 JA中央会
	東京都	農業会議 JA中央会
	神奈川県	農業会議 JA中央会
	山梨県	農業会議 JA中央会
	長野県	農業会議 JA中央会

北陸	新潟県	農業会議 JA中央会
	富山県	農業会議 JA中央会
	石川県	農業会議 JA中央会
	福井県	農業会議 JA中央会
東海	三重県	農業会議 JA中央会
	愛知県	農業会議 JA中央会
	静岡県	農業会議 JA中央会
	岐阜県	農業会議 JA中央会
	滋賀県	農業会議 JA中央会
近畿	京都府	農業会議 JA中央会
	大阪府	農業会議 JA中央会
	兵庫県	農業会議 JA中央会
	奈良県	農業会議 JA中央会
	和歌山県	農業会議 JA中央会
四国	徳島県	農業会議 JA中央会
	香川県	農業会議 JA中央会
	愛媛県	農業会議 JA中央会
	高知県	農業会議 JA中央会

中国	鳥取県	農業会議 JA中央会
	島根県	農業会議 JA中央会
	岡山県	農業会議 JA中央会
	広島県	農業会議 JA中央会
	山口県	農業会議 JA中央会
九州・沖縄	福岡県	農業会議 JA中央会
	大分県	農業会議 JA中央会
	佐賀県	農業会議 JA中央会
	長崎県	農業会議 JA中央会
	熊本県	農業会議 JA中央会
	宮崎県	農業会議 JA中央会
	鹿児島県	農業会議 JA中央会
	沖縄県	農業会議 JA中央会

農業者年金制度改正説明会 参加者名簿

【9月3日(金)】

No.	受託機関等名	No.	受託機関等名
1	新潟県農業会議	1	青森県農業協同組合中央会
2	富山県農業会議	2	新潟県農業協同組合中央会
3	石川県農業会議	3	石川県農業協同組合中央会
4	福井県農業会議	4	福井県農業協同組合中央会
5	山梨県農業会議	5	岐阜県農業協同組合中央会
6	岐阜県農業会議	6	静岡県農業協同組合中央会
7	静岡県農業会議	7	三重県農業協同組合中央会
8	愛知県農業会議	8	大阪府農業協同組合中央会
9	三重県農業会議	9	兵庫県農業協同組合中央会
10	滋賀県農業会議	10	奈良県農業協同組合中央会
11	大阪府農業会議	11	長崎県農業協同組合中央会
12	(公社) ひょうご農林機構	12	沖縄県農業協同組合
13	奈良県農業会議		
14	和歌山県農業会議		
15	長崎県農業会議		
16	宮崎県農業会議		

【9月6日(月)】

No.	受託機関等名	No.	受託機関等名
1	北海道農業会議	1	北海道農業協同組合中央会
2	青森県農業会議	2	岩手県農業協同組合中央会
3	岩手県農業会議	3	宮城県農業協同組合中央会
4	宮城県農業会議	4	山形県農業協同組合中央会
5	秋田県農業会議	5	福島県農業協同組合中央会
6	山形県農業会議	6	富山県農業協同組合中央会
7	福島県農業会議	7	愛知県農業協同組合中央会
8	鳥取県農業会議	8	滋賀県農業協同組合中央会
9	島根県農業会議	9	鳥取県農業協同組合中央会
10	岡山県農業会議	10	岡山県農業協同組合中央会
11	広島県農業会議	11	山口県農業協同組合
12	山口県農業会議	12	徳島県農業協同組合中央会
13	徳島県農業会議	13	香川県農業協同組合
14	香川県農業会議	14	愛媛県農業協同組合中央会
15	愛媛県農業会議	15	高知県農業協同組合
16	高知県農業会議		
17	全国農業会議所		

【9月7日(火)】

No.	受託機関等名	No.	受託機関等名
1	茨城県農業会議	1	秋田県農業協同組合中央会
2	栃木県農業会議	2	茨城県農業協同組合中央会
3	群馬県農業会議	3	栃木県農業協同組合中央会
4	埼玉県農業会議	4	群馬県農業協同組合中央会
5	千葉県農業会議	5	埼玉県農業協同組合中央会
6	東京都農業会議	6	千葉県農業協同組合中央会
7	神奈川県農業会議	7	東京都農業協同組合中央会
8	長野県農業会議	8	神奈川県農業協同組合中央会
9	京都府農業会議	9	山梨県農業協同組合中央会
10	高知県農業会議	10	長野県農業協同組合中央会
11	福岡県農業会議	11	京都府農業協同組合中央会
12	佐賀県農業会議	12	和歌山県農業協同組合中央会
13	熊本県農業会議	13	広島県農業協同組合中央会
14	大分県農業会議	14	福岡県農業協同組合中央会
15	鹿児島県農業会議	15	佐賀県農業協同組合中央会
16	沖縄県農業会議	16	熊本県農業協同組合中央会
		17	大分県農業協同組合中央会
		18	宮崎県農業協同組合中央会
		19	鹿児島県農業協同組合中央会
		20	全国農業協同組合中央会

令和3年度 新規加入者状況調査集計結果(最終版)
(令和3年4月～令和4年3月 加入手続きの際にアンケート調査を実施)

● 令和3年度の新規加入者を対象

・以下の各数値は切り上げ処理を行っているので、各設問の合計は100%にならない。

【回答者の構成割合】

◆年齢別	
20歳代	20%
30歳代	38%
40歳代	29%
50歳代	15%
無回答	1%

◆男女別	
男性	65%
女性	34%
無回答	2%

◆加入者の経営における位置付け			
経営主	37%	その他	1%
経営主の家族	61%	無回答	2%
法人等の従業員（パート等含む）	1%		

● 上記設問で『経営主』または『経営主の家族』を選択した場合のみ回答

◆農家区分			
専業農家	88%	兼業農家(農業所得が従)	4%
兼業農家(農業所得が主)	6%	無回答	4%

◆経営類型					
稲作	23%	施設野菜	15%	肉用牛	5%
麦類作	7%	果樹類	12%	養豚	1%
穀類・いも類・豆類	10%	花き・花木	4%	養鶏	1%
工芸農作物	2%	その他の作物	3%	無回答	2%
露地野菜	17%	酪農	5%		

◆農業者種別					
新規就農者(Uターン)	11%	それ以外の新規就農者	7%	その他	2%
新規就農者(Iターン)	6%	認定農業者	42%	該当なし	9%
認定新規就農者	10%	家族経営協定締結者	12%	無回答	7%

【加入推進名簿登載者であったか】

◆農業委員会		◆農業協同組合	
はい	46%	はい	29%
いいえ	38%	いいえ	34%
無回答	17%	無回答	39%

問1 農業者年金に関する広告であなたがご覧になったものは？

設問	回答	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代
農業者年金のラジオCMを聞いたことがありますか。	ある	31%	32%	29%	28%	29%	29%	46%
	ない	70%	69%	72%	73%	72%	72%	55%

設問	回答	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代
ラジオ以外の広告で、あなたがご覧になったものに○をつけてください。 (複数回答可)	1 JAに掲示されたポスター、チラシ	22%	22%	21%	23%	22%	22%	19%
	2 農業委員会に掲示されたポスター、チラシ	18%	19%	17%	18%	18%	18%	22%
	3 JAの広報誌	13%	13%	14%	14%	13%	13%	13%
	4 市町村(農業委員会)の広報誌	12%	12%	12%	11%	12%	12%	13%
	5 日本農業新聞	6%	6%	6%	5%	7%	5%	6%
	6 全国農業新聞	5%	4%	5%	3%	4%	5%	6%
	7 農業者年金基金HP	4%	4%	4%	3%	4%	6%	3%
	8 市町村・JAのHP	2%	2%	1%	2%	2%	2%	1%
	9 家の光	2%	2%	2%	1%	2%	2%	3%
	10 地上	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%
	11 農林水産省メールマガジン	1%	1%	1%	1%	1%	1%	0%
	12 のうねん	1%	1%	1%	1%	1%	1%	1%
	13 農林水産省フェイスブック	1%	1%	1%	0%	1%	1%	1%
	14 その他	3%	3%	3%	2%	3%	4%	2%
	15 特になし	18%	17%	18%	23%	18%	16%	15%

ラジオCMを聞いたことがある人は、回答者のうち31%、その他の農業者年金の広告については、「農業委員会・JAに掲示されたポスター、チラシ」、「市町村(農業委員会)・JAの広報誌」がよく見られている。

問2 加入のきっかけはどんな場面？

設問	回答	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代
加入のきっかけはどのような場面でしたか。3つ以内で○をつけてください。	1 家族からの勧め	33%	29%	40%	44%	36%	27%	22%
	2 農業委員等による戸別訪問	14%	15%	13%	15%	12%	15%	18%
	3 自分で判断	14%	15%	13%	6%	13%	18%	22%
	4 農業委員会職員による戸別訪問	10%	11%	8%	11%	10%	8%	10%
	5 JA役職員による戸別訪問	8%	8%	7%	9%	9%	8%	6%
	6 友人・知人からの勧め	8%	9%	6%	5%	9%	9%	8%
	7 JA役職員による戸別訪問以外での勧めで	6%	6%	6%	6%	6%	6%	5%
	8 農業委員会職員による戸別訪問以外での勧めで	4%	5%	3%	3%	4%	4%	6%
	9 農業委員等による戸別訪問以外での勧めで	4%	4%	4%	3%	4%	5%	4%
	10 税理士・ファイナンシャルプランナー等の専門家への相談で	2%	2%	2%	1%	2%	3%	2%
	11 その他	2%	2%	2%	2%	2%	2%	2%

加入のきっかけは、「家族からの勧め」が33%、「農業委員会・JA関係者の戸別訪問」が32%となっている。「家族からの勧め」については、若い世代の割合が特に高くなっている。

問3 加入しようと思った農業者年金の魅力は？

設問	回答	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代
加入しようと思った農業者年金の魅力は何ですか。3つ以内で○をつけてください。	1 国民年金に上乗せできるから	28%	29%	28%	28%	28%	28%	30%
	2 保険料の全額社会保険料控除などの税制優遇があるから	19%	19%	19%	16%	18%	19%	22%
	3 積立て方式だから	14%	14%	14%	15%	14%	14%	14%
	4 終身年金で生涯年金が支給されるから	13%	12%	14%	12%	12%	14%	14%
	5 保険料が自由に決められるから	11%	11%	11%	10%	10%	13%	11%
	6 任意に加入・脱退ができるから	7%	7%	7%	6%	7%	8%	5%
	7 一定の要件を満たした場合の保険料補助があるから	4%	4%	3%	7%	6%	1%	0%
	8 80歳までに死亡した場合に死亡一時金があるから	2%	2%	3%	2%	2%	2%	3%
	9 よく分からない	2%	2%	2%	3%	2%	1%	1%
	10 年金資産の運用実績が良いから	2%	2%	2%	2%	2%	1%	2%
	11 事務経費の負担がないから(国費で負担)	1%	1%	1%	2%	1%	1%	1%
	12 その他	3%	3%	3%	3%	3%	3%	2%

多くの方が、老後生活の安定のために「国民年金に上乗せできるから」と考え加入しており、農業者年金制度の魅力は、「税制優遇」であると感じている方が多い。

問4 農業者年金をどの程度知っていましたか？

（ 世代別集計 ）

設問	回答	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代
この度、農業者年金に加入していただきましたが、加入される前に農業者年金制度についてどの程度ご存じでしたか。1つだけ○をつけて下さい。	1 制度の内容を良く知っていた	4%	4%	5%	4%	4%	4%	7%
	2 制度の内容をある程度知っていた	39%	41%	36%	28%	39%	44%	46%
	3 名前以外の制度内容はほとんど知らなかった	46%	45%	47%	48%	48%	44%	41%
	4 名前を含め全く知らなかった ()は女性における数字	13%	12%	14%	22% (32%)	11% (14%)	11% (11%)	8% (7%)

（ 就農時期別集計 ）

設問	回答	全体	男性	女性	0～2年前	3～5年前	6年以上前
この度、農業者年金に加入していただきましたが、加入される前に農業者年金制度についてどの程度ご存じでしたか。1つだけ○をつけて下さい。	1 制度の内容を良く知っていた	4%	4%	5%	4%	4%	5%
	2 制度の内容をある程度知っていた	39%	41%	36%	30%	38%	45%
	3 名前以外の制度内容はほとんど知らなかった	46%	45%	47%	47%	45%	45%
	4 名前を含め全く知らなかった ()は女性における数字	13%	12%	14%	22% (26%)	15% (14%)	7% (8%)

全体では、「ほとんど知らなかった」、「全く知らなかった」は合わせて約6割。世代別では、若い人ほどその割合が多い。
就農時期別では、就農時期0～2年前で約7割、3～5年前で約6割、6年以上前で約5割となっている。

問5 農業者年金を知っていてこれまで加入しなかったその理由は？

設問	回答	全体	男性	女性	20代	30代	40代	50代
問4で1または2と回答された方にお聞きます。 農業者年金にこれまで加入しなかった理由は何ですか。2つに○をつけて下さい。	1 詳しい説明を聞く機会がなかった	33%	32%	35%	38%	30%	37%	31%
	2 保険料の負担が大きかった	20%	19%	21%	6%	19%	23%	31%
	3 年齢的にまだ加入しなくても良いと思っていた	18%	20%	15%	23%	22%	15%	12%
	4 加入資格がなかった(他の年金制度に入っていた、農業に従事していなかった等)	16%	16%	17%	27%	17%	12%	12%
	5 公的年金全般への不安感	6%	6%	6%	2%	6%	8%	8%
	6 保険料補助の対象外だった	3%	3%	2%	1%	4%	3%	2%
	7 その他	6%	6%	6%	5%	7%	6%	7%

知っていて、これまで加入しなかった人の主な理由は、「詳しい説明を聞く機会がなかった」、「保険料の負担」、「年齢的にまだ加入しなくても良いと思っていた」等。

令和３年度における新規加入実績の要因検証

令和４年７月
農業者年金基金 企画調整室

１ 市町村段階に設置している加入推進部長の活動状況の前年度比較(全国の総時間数比較)

(単位：時間)

区 分	R 2	R 3
調査対象農業委員会数	1,709	1,708
加入推進部長の指導的な活動時間	19,293	18,483 (0.96 倍)
対策会議、加入対象者の把握、絞り込み	5,521	5,368 (0.97 倍)
制度の普及 PR	2,794	2,777 (0.99 倍)
各種会議での働きかけ	2,383	2,110 (0.89 倍)
戸別訪問	8,058	7,604 (0.94 倍)

注１：業務指導等事業(R2、R3)の実績報告書を集計

注２：() は対前年比較

【検証結果】

令和２年度と令和３年度の全国の活動状況を比較すると、コロナウイルス感染症の影響と考えられるが、いずれの活動項目についても前年度から減少している。

2 新規加入実績が下がった市町村段階に設置している加入推進部長の活動状況の 前年度比較（1市町村当たり）

（単位：時間）

区 分	R 2	R 3
加入推進部長の指導的な活動時間	49.3	48.6（0.99倍）
対策会議、加入対象者の把握、絞り込み	15.6	16.3（1.04倍）
制度の普及PR	8.0	6.6（0.83倍）
各種会議での働きかけ	2.8	3.3（1.18倍）
戸別訪問	21.4	20.6（0.96倍）

注1：R3に5人以上減った29市町村の加入推進部長の活動実績を集計

注2：（ ）は対前年比較

【検証結果】

令和3年度の新規加入者実績が5人以上減少した市町村については、全体活動時間が前年度と比較して微減に止まったものの、活動項目別では、「各種会議での働きかけ」及び「対策会議、加入対象者の把握、絞り込み」が増加し、反面、「制度の普及PR」及び「戸別訪問」が減少している。

3 新規加入実績が伸びた市町村段階に設置している加入推進部長の活動状況の 前年度比較（1市町村当たり）

（単位：時間）

区 分	R 2	R 3
加入推進部長の指導的な活動時間	52.8	38.0（0.72倍）
対策会議、加入対象者の把握、絞り込み	18.0	10.1（0.56倍）
制度の普及 PR	4.5	2.4（0.53倍）
各種会議での働きかけ	4.5	5.0（1.11倍）
戸別訪問	24.8	17.3（0.70倍）

注1：R3年度に5人以上伸びた24市町村の加入推進部長の実績を集計

注2：（ ）は対前年比較

【検証結果】

新規加入実績が5人以上伸びた市町村については、コロナウイルス感染症の影響と考えられるが、全体活動時間が前年度と比較して約7割に減少している。活動項目別では、「各種会議での働きかけ」が増加しているものの、その他の項目については、それぞれ減少している。特に、「制度の普及 PR」及び「対策会議、加入対象者の把握、絞り込み」が、大きく減少している。

実績がでている市町村と全国平均との活動実績の比較(R3年度)

1 市町村段階に設置している加入推進部長の活動実績（1市町村当たり）

（単位：時間）

区 分	全国平均 (R3)	R3 実績が5人以上 増加した市町村 (R3)	R2・R3 の両年度と も10人以上の加入 実績のある市町村 (R2・R3)
加入推進部長の指導的な活動時間	15.4	38.0（2.5倍）	87.6（5.7倍）
対策会議、加入対象者の把握、絞り込み	4.5	10.1（2.2倍）	25.3（5.6倍）
制度の普及PR	2.3	2.4（1.0倍）	10.8（4.7倍）
各種会議での働きかけ	1.8	5.0（2.8倍）	7.2（4.0倍）
戸別訪問	6.3	17.3（2.7倍）	37.6（6.0倍）

注1：R2・R3の両年度とも10人以上の加入実績があり、加入推進部長を設置している市町村は18市町村

注2：（ ）は全国平均との比較

注3：R3で加入推進部長を設置している市町村数は1,198市町村

2 1市町村当たり活動実績

区 分	全国平均 (R3)	R2 実績が5人以上 増加した市町村 (R3)	R2・R3 の両年度と も10人以上の加入 実績のある市町村 (R2・R3)
加入推進名簿掲載者数	68.6人	205.1人（3.0倍）	386.4人（5.6倍）
加入対策会議、研修会の開催	1.2回	2.1回（1.7倍）	5.3回（4.2倍）
戸別訪問を行った加入推進者の人数	4.0人	10.4人（2.6倍）	19.9人（5.0倍）
広報活動（農委便りへの掲載等）の実施回数	1.8回	2.7回（1.5倍）	3.7人（2.0倍）

注1：R2・R3の両年度とも10人以上の加入実績のある市町村は27市町村

注2：（ ）は全国平均との比較

3 1 J A 当たり活動実績 (1 県 1 J A 含む)

区 分	全国平均 (R3)	R3 実績が 5 人以上 増加した J A (R3)	R2・R3 の 2 年度と も 10 人以上の加入 実績のある J A (R2・R3)
加入推進名簿掲載者数	99.9 人	204.1 人(2.0 倍)	316.2 人(3.2 倍)
加入対策会議、研修会の開催	1.2 回	2.6 回(2.2 倍)	4.6 回(3.9 倍)
戸別訪問を行った加入推進者の人数	3.0 人	4.6 人(1.5 倍)	10.4 人(3.5 倍)
広報活動(農協便りへの掲載等)の実施回数	2.1 回	3.3 回(1.6 倍)	6.0 回(2.9 倍)

注 1 : R2・R3 の両年度とも 10 人以上の加入実績のある J A は 58 J A

注 2 : () は全国平均との比較

【検証結果】

- ① 市町村に配置している加入推進部長の活動時間を全国平均と比較すると、
 ア 前年度よりも新規加入者が 5 人以上伸びた市町村については、全体活動時間が約 3 倍、活動項目別では、「各種会議での働きかけ」及び「戸別訪問」に係る時間が約 3 倍と大きくなっている。
 イ また、2 年連続して一定の実績(10 人以上)がある市町村は、全体活動時間が約 6 倍となっているなど、更に大きく全国平均を上回っている。活動項目別においても全ての項目について大きく全国平均を上回っており、特に「戸別訪問」及び「対策会議、加入対象者の把握、絞り込み」が約 6 倍と大きくなっている。
- ② 市町村及び J A の活動実績を全国平均と比較すると、前年度よりも新規加入者が 5 人以上伸びた市町村と J A 及び 2 年連続して一定の実績(10 人以上)をあげている市町村と J A とも、すべての活動項目において全国平均を上回っている。
- ③ 実績がでている市町村等は、新型コロナウイルス感染症により加入推進活動が制限されている状況下にあっても、加入推進部長の積極的な指導活動の下、関係者間で協力しながら、広報活動、加入対象者の把握・絞り込み等を適切に実施し、戸別訪問等の各加入推進活動を積極的に行っていると考えられる。

加入推進の戸別訪問等の効果検証

(29～3年度の実績報告等を基に分析)

1 戸別訪問の効果

(1) 戸別訪問時間数のレベル別にみた新規加入者数割合の比較（府県）

基幹的農業従事者に対する 戸別訪問の時間数①	新規加入者数の割合②	②の割合の比較 (少ない府県を1とする)
戸別訪問の時間数が多い府県（上位1/3）	0.80%	1.53倍
戸別訪問の時間数が 中間の府県（中位1/3）	0.63%	1.21倍
戸別訪問の時間数が 少ない府県（下位1/3）	0.52%	1

(注)

- ・①は、府県別[戸別訪問時間(29～3年度平均)／基幹的農業従事者数(60歳未満)]で算出
- ・②は、府県別[新規加入者数(29～3年度平均)／基幹的農業従事者数(60歳未満)]で算出
- ・加入推進部長を設置していない北海道と東京都を分析から除いている。

(2) ②を20～39歳新規加入数(29～3年度平均)に置き換えて比較しても 同じ傾向

戸別訪問の時間数が

多い府県 : 2.82%(1.58倍)

中間の府県 : 2.16%(1.21倍)

少ない府県 : 1.79%(1.0倍)

戸別訪問をしっかりやっている府県ほど、新規加入実績がでてい
る。時間数の多い府県の新規加入者数は、少ない府県の1.53倍
、時間数が中間の府県は、少ない府県の1.21倍。

2 重点、特別重点県指定の効果

令和3年度 11県を重点指定のうち2県を特別重点指定

県受託機関による重点市町村・J A巡回意見交換を実施するとともに
基金よりポスター等の資材を提供することにより広報活動を強化
特別重点県では5者協議を行い、特別活動を実施

◎重点、特別重点県と全国とを比較した新規加入者数の推移

区 分	平成2年度	令和3年度	前年度比
全 国	55.9人 →	52.3人	93.6%
重点県	45.1人 →	47.2人	104.7%
重点県以外	57.8人 →	53.8人	93.1%

※令和2年度と令和3年度の重点県指定数が異なるため1都道府県当たりの平均新規加入者数で比較した。（令和2年度：7県を重点、うち1県を特別重点）

◎重点、特別重点県の新規加入者数の推移

区 分	令和2年度	令和3年度	前年度比
全 国	2,626人 →	2,456人	93.6%
青森県	89人 →	70人	78.7%
岩手県	57人 →	38人	66.7%
福島県	39人 →	36人	92.3%
茨城県（特別重点）	59人 →	58人	98.3%
埼玉県	38人 →	29人	76.3%
千葉県	84人 →	82人	97.6%
静岡県	53人 →	38人	71.7%
愛知県（特別重点）	33人 →	32人	97.0%
和歌山県	43人 →	53人	123.3%
高知県	37人 →	24人	64.9%
福岡県	51人 →	59人	115.7%

1都道府県当たりの平均新規加入者数は、重点指定以外が対前年93.1%であったのに対し、重点指定の県は104.7%、と伸びている。また、一部の重点県（和歌山及び福岡県）においては、新規加入者数が前年より大きく伸びている。

3 女性による加入推進の効果（29～3年度の実績報告等を基に分析）

（1）女性加入推進部長のレベル別割合からみた戸別訪問時間数の比較

加入推進部長数に対する 女性加入推進部長の割合①	戸別訪問の時間数の比較② (少ない府県を1とする)
女性加入推進部長の割合が多い府県 (上位1～10位)	1
女性加入推進部長の割合が少ない府県 (11位～45位)	1.05倍

（注）

- ・①は、府県別 [女性加入推進部長数(5ヵ年平均)／加入推進部長数(10時間以上活動)]で算出
- ・②は、府県別 [戸別訪問時間(5ヵ年平均)／基幹的農業従事者数(60歳未満)]で算出
- ・加入推進部長を設置していない北海道と東京都を分析から除いている。
- ・女性加入推進部長は全国的にみてまだ配置がそれほど進んでおらず、中位下位で有意に比較できない。上位10位までと中間以下府県とに分類し、分析した。

（2）女性加入推進部長のレベル別割合からみた新規加入者数の割合の比較

加入推進部長数に対する女性加入推進部長の割合①	新規加入者数の割合②	②の割合の比較 (少ない府県を1とする)
女性加入推進部長の割合が多い府県 (上位1～10位)	0.74%	1.19倍
女性加入推進部長の割合が少ない府県 (11位～45位)	0.62%	1

（注）

- ・②は、府県別 [新規加入者数(5ヵ年平均)／基幹的農業従事者数(60歳未満)]で算出

加入推進部長の女性割合の多い府県は、少ない府県と比較して戸別訪問時間はわずかに短い傾向にあるものの、新規加入者数は、少ない府県の1.19倍となっている。

都道府県別ラジオ放送実施状況

			H30	H31	R2	R3
北海道			○	○	○	○
青森県			○	○	○	○
岩手県			○	○	○	○
宮城県				○	○	○
秋田県			○	○	○	○
山形県						○
福島県			○	○	○	○
茨城県			○	○	○	○
栃木県				○	○	○
群馬県			○	○	○	○
埼玉県						
千葉県			○	○	○	○
東京都			○			
神奈川県						
新潟県				○	○	○
富山県						
石川県						
福井県			○	○	○	○
山梨県						
長野県			○	○	○	○
岐阜県						
静岡県				○	○	○
愛知県			○	○	○	○
三重県						
滋賀県			○	○	○	○
京都府			○	○	○	○
大阪府			○	○	○	○
兵庫県			○	○	○	○
奈良県			○	○	○	○
和歌山県			○	○	○	○
鳥取県					○	○
島根県				○	○	○
岡山県				○		
広島県			○			
山口県			○	○	○	○
徳島県			○	○	○	○
香川県					○	○
愛媛県				○	○	○
高知県			○	○	○	○
福岡県			○	○	○	○
佐賀県				○		○
長崎県			○		○	○
熊本県			○	○	○	○
大分県			○	○	○	○
宮崎県			○	○	○	○
鹿児島県			○	○	○	○
沖縄県			○	○	○	○
合計			29	34	35	37

宮城県農業会議 WEBサイト、アプリを使ったPR

Googleのディスプレイ広告やYouTube
動画広告を活用し広く周知活動

若年層

WEBサイトとアプリの表示例



熊本県農業会議・JA 熊本中央会 作成 PR 動画

「一人一人の農業者を応援する 農業者年金制度について」

【URL】https://youtu.be/f_L0dGS_Ya8 (YouTube)



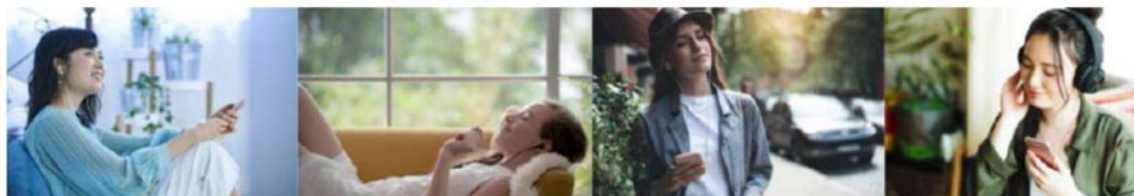
音楽配信サービス（spotify）を活用し音声広告を配信（近畿2府4県）

音楽配信サービスである spotify を活用し、令和3年11月の1か月間、楽曲間に農業者年金PRの音声広告を配信。

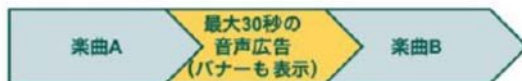
※spotify（スポティファイ）は、スウェーデンの企業スポティファイ・テクノロジーによって運営されている音楽ストリーミングサービス。2021年7月時点で、3億6500万人（うち有料会員1億6500万人）のユーザーを抱えており、音楽配信サービスとしては世界最大手である。パソコン・スマートフォン・タブレット型端末・ゲーム機などの電子端末に対応している。

■メディア提案② Spotify 音声広告

SHINTSU 8



楽曲やプレイリストを再生する際、楽曲間のブレイクに最大30秒の音声および動画広告が挿入されます。あわせてバナーの掲載も可能です。



スキップ不可



サンプル動画
<https://bit.ly/2F7N8mJ>

フォーマット	開始日	終了日	料金体系	1,000回単価	配信数	グロス価格（税抜）	プラットフォーム	ターゲティング
オーディオ	1ヶ月間		配信課金	¥ 1,500	1,000,000	¥ 1,500,000	ALL	エリア：近畿2府4県 時間帯：6～15時

神奈川県農業会議・JA神奈川県中央会が作成した デジタルサイネージ広告 神奈川中央交通バスの車内広告



(後部板広告)

島根県農業会議が作成したバス広告

